

## 国民健康保険について

**(質問)** 国民健康保険料を滞納している世帯への資格証明書、短期保険証の発行は機械的・一律に行うのではなく、悪質な滞納か否かを十分に調べた上で行わなくてはならない。横浜市では各世帯の実態を把握し悪質滞納者と証明できなければ正規保険証を発行することで、資格証明書・短期保険証の発行件数が令

和元年8月以降ゼロになった。本市でも市民の命綱である保険証を資格証明書・短期保険証にするマニュアルは見直すべきである。

**(答弁)** 資格証明書は、被保険者間の負担の公平を図る観点から、特別な事情がなく国民健康保険料を納付しない被保険者に交付し、短期保険証は納付状況に応じて交付している。国民健康保険制度の持続的運営のために、資格証明書の交付は必要と考えている。

**その他の質問** ○交通安全対策 ○非正規職員の処遇改善

## 学校教育への危惧

**(質問)** ①あいさつ・敬語・姿勢などの改善指導を②中学校でも毎日の宿題提出と確認を。全中学校同一日時の統一テスト実施を③家庭でのスマートフォンの禁止または依存防止策を。代わりに本を持たせよう④学業と部活動の優先順位は。部活動指針を守らない教員対応を⑤部活動での怪我の状況と改善策⑥部活動での応援が

いじめとならないよう指導を⑦学校業務の妨害に対して毅然とした対応を。

**(答弁)** ①家庭と連携し指導する②宿題確認による授業改善を指導する。統一テスト実施は難しい③保護者による管理の必要性を啓発する。学校・家庭での読書活動を充実させる④何よりも学習指導が中心だ。部活動優先は不適切で、顧問への指導を続ける⑤休養日などの設定、安全管理の研修などが必要だ⑥顧問・生徒の不適切発言を許さず、厳しく指導する⑦弁護士への相談など、法令に基づき対応する。

## 少子化対策について

**(質問)** 少子化は市政運営にも大きな影響をもたらす社会環境の変化である。本市は少子化対策にどのように取り組んでいるのか。特に、直接効果のある結婚機会の提供として、どのような取り組みをしているのか。

**(答弁)** 少子化対策事業として、各種の母子保健事業や子育て支援事業を実施しているほ

か、結婚支援に関する取り組みとして、県が設置している「みえ出逢いサポートセンター」と連携し、結婚に関する情報の提供や、イベントの場の提供に協力している。また、子育て応援サイト「きら鈴」にも婚活イベントの開催情報を随時掲載している。結婚や出産について、地域の企業や団体に対して本市ができるサポートや共に活動できる取り組みについて研究し、結婚や少子化対策につながるように努めていく。

**その他の質問** ○学力向上

## 鈴鹿市の災害対策について

**(質問)** ①大規模な水害が発生した場合に備え、高齢者、災害時要援護者に対し、ライフジャケットを配布してはいかがか。②地域の自主防災隊の住民が災害時の救護活動用にライフジャケットを購入する場合、自主防災組織活性化事業補助金を利用すると、購入額の2分の1（上限15万円）の補助があることについて、

自治会への啓蒙が必要ではないか。

**(答弁)** ①水害から身を守るためには、市民が市からの情報を的確に取得し、適切な避難行動をとることが重要であり、ライフジャケットの配布については、災害時要援護者に安心感を与える利点もあるが、避難の遅れなどにつながることも危惧され、配布する考えは現在持ち合わせていない。②補助金については今後、地域の防災訓練、集会などを通じ啓発、周知していきたい。

**その他の質問** ○鈴鹿市の環境対策